

学会記事

◆◆◆◆ 第29回 定例研究会 (2025) ◆◆◆◆

日時：2025年5月24日(土) 13:00～17:30
場所：摂南大学寝屋川キャンパス(大阪府寝屋川市)

13:00～15:50 研究報告

〈報告①〉

金子悟史(防衛大学校)

「朝鮮人民軍における芸術活動の創始、発展、変容—軍隊芸術活動の役割はいかに変遷していったのか—」

〈討論〉森類臣(摂南大学)

〈報告②〉

金誠(札幌大学)

「朝鮮における解放政局とスポーツ—スポーツ関係者らの解放とスポーツ組織の再編—」

〈討論〉金子祐樹(東国大学)

〈報告③〉

小出稔(創価大学)

「呂運亨の『再評価』—韓国主要4紙の呂運亨をめぐる言説のテキストマイニング分析」

〈討論〉小倉紀蔵(京都大学名誉教授)

〈報告④〉

金玄郁(早稲田大学政治学研究科博士課程)

「韓国の大統領弾劾における三権分立の力学—盧武鉉、朴槿恵、尹錫悦の弾劾裁判を事例に」

〈討論〉米沢竜也(神戸大学)

16:00～17:30 ディスカッション「韓国における立憲主義と民主主義：憲法裁判所の権限と機能」

〈報告〉國分典子(法政大学)

〈討論〉木村幹(神戸大学)

◆◆◆◆ 第26回 研究大会 (2025) ◆◆◆◆

日時：2025年10月25日(土) 12:30～17:20
場所：大東文化大学 東京板橋キャンパス(東京都板橋区)

12:00～12:40 総会(3-0111教室)

12:45～14:15

●自由論題●

韓国現代史・政治(3-0112教室)

〈司会〉西野純也(慶應義塾大学)

〈報告①〉

金誠(札幌大学)

「スポーツ関係者の対日協力と解放政局—解放後朝鮮における徐相天の青年運動に着目して—」

〈報告②〉

成瀬友裕（慶應義塾大学 大学院生）

「指紋押捺問題をめぐる全斗煥政権の政策論理—日韓関係の安定的管理と在日韓国人の地位向上の狭間—」

〈報告③〉

パトリック・フィアターラ（京都大学）

「我が所願は統一だ—韓国における金九の文化的記憶に関する一考察—」

〈報告④〉

金玄郁（早稲田大学 大学院生）

「作られた反中—文在寅・尹錫悦政権期における韓中関係の転換—」

〈討論〉藤井豪（東京外国語大学）、木村幹（神戸大学）

韓国社会（3-0105 教室）

〈司会〉金子祐樹（東国大学）

〈報告①〉

北野嵩大（東京大学 大学院生）

「『近代家族論』から見た韓国の家族変動—高度成長期の産業構造・就業構造の変化に着目して—」

〈報告②〉

ヨム・サンウン（神戸大学 大学院生）

「若い世代のマイノリティが経験するマイクロアグレッション—在日コリアン青年の学生生活を事例に—」

〈報告③〉

新藤麻里（東京大学）

「韓国の大卒失業と就業準備」

〈討論〉金明中（ニッセイ基礎研究所）、出羽孝行（龍谷大学）、福島みのり（名古屋外国語大学）

朝鮮（3-0103/4 教室）

〈司会〉堀田幸裕（霞山会）

〈報告①〉

斎藤真（新潟こども医療専門学校）

「朝鮮民主主義人民共和国における教育政策動向とその二重構造

—金正恩時代の「教育強国・人材強国」展開と「国際標準」概念—」

〈報告②〉

宮塚寿美子（神戸大学）

「韓国のZ世代の統一教育の実態調査結果から見る南北関係」

〈討論〉森類臣（摂南大学）、三村光弘（新潟県立大学北東アジア研究所）

14：20～15：20

2024年度現代韓国朝鮮学会賞（小此木賞）受賞者による講演（3-0111 教室）

〈司会〉小倉紀蔵（京都大学名誉教授）

〈講演①〉

郭旻錫（京都大学）

『自己否定する主体—一九三〇年代「日本」と「朝鮮」の思想的媒介』

（京都大学学術出版会、2024年3月5日刊行）

〈講演②〉

山口祐香（九州大学）

『「発見」された朝鮮通信使—在日朝鮮人歴史家・辛基秀の歴史実践と戦後日本』
（法律文化社、2024年3月25日刊行）

15：30～17：20

ラウンドテーブル（3-0111 教室）

〈発題〉 笹野美佐恵（茨城大学）、寺下和宏（東京大学）

「朝鮮半島研究の広がり」と多様な視点」

〈討論〉 野崎文香（名古屋大学 大学院生）、米沢竜也（神戸大学）